

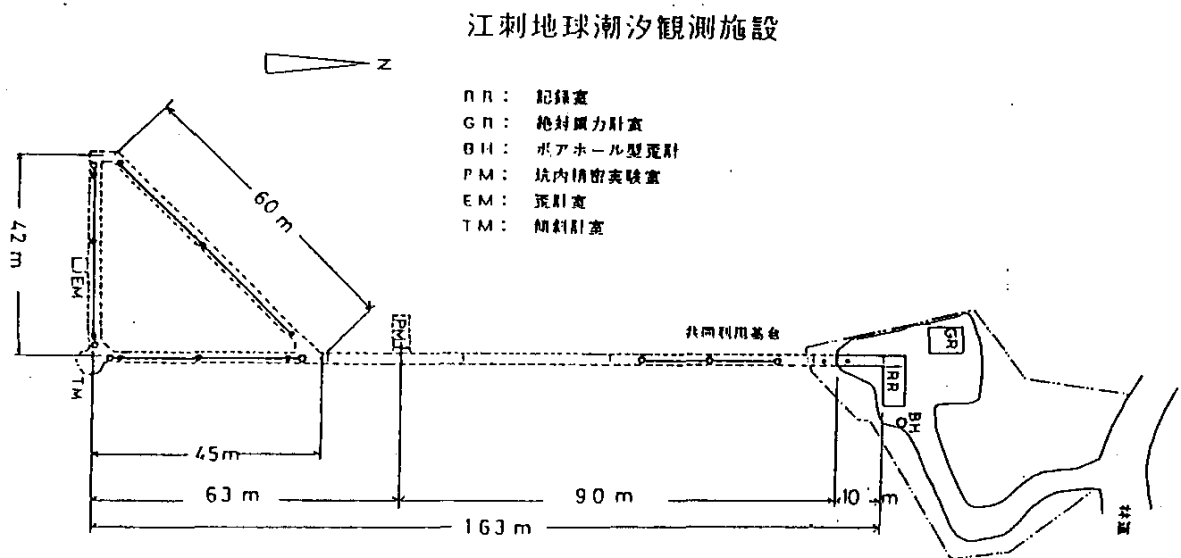
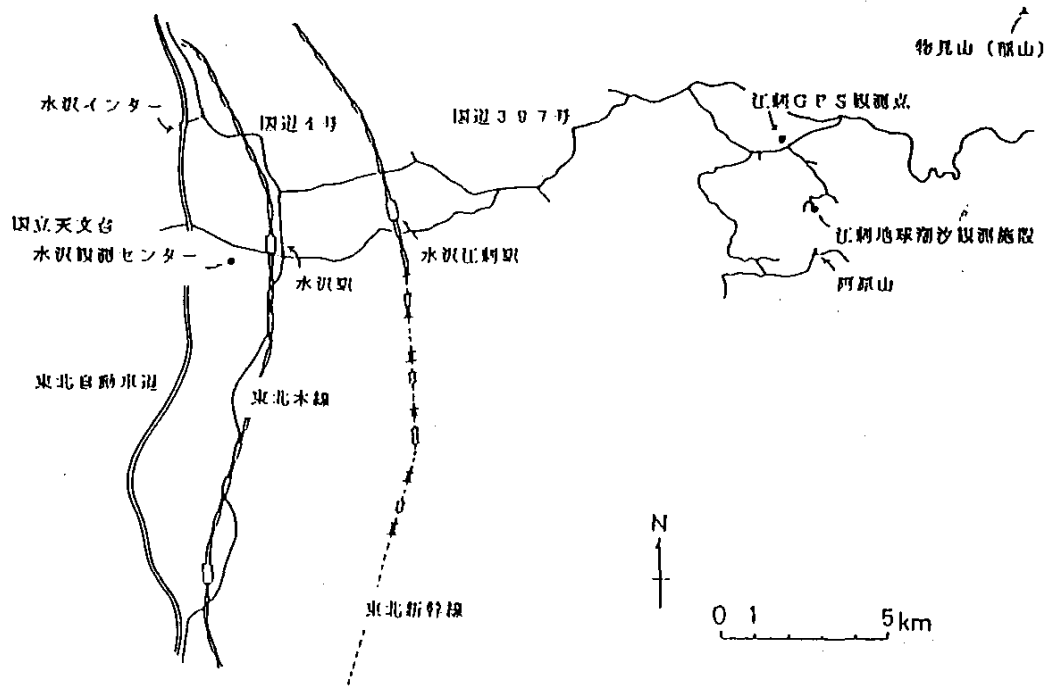
2 - 5 江刺における地殻変動連続観測

Continuous Observations of Crustal Movements at the Esashi Earth Tides Station

国立天文台水沢

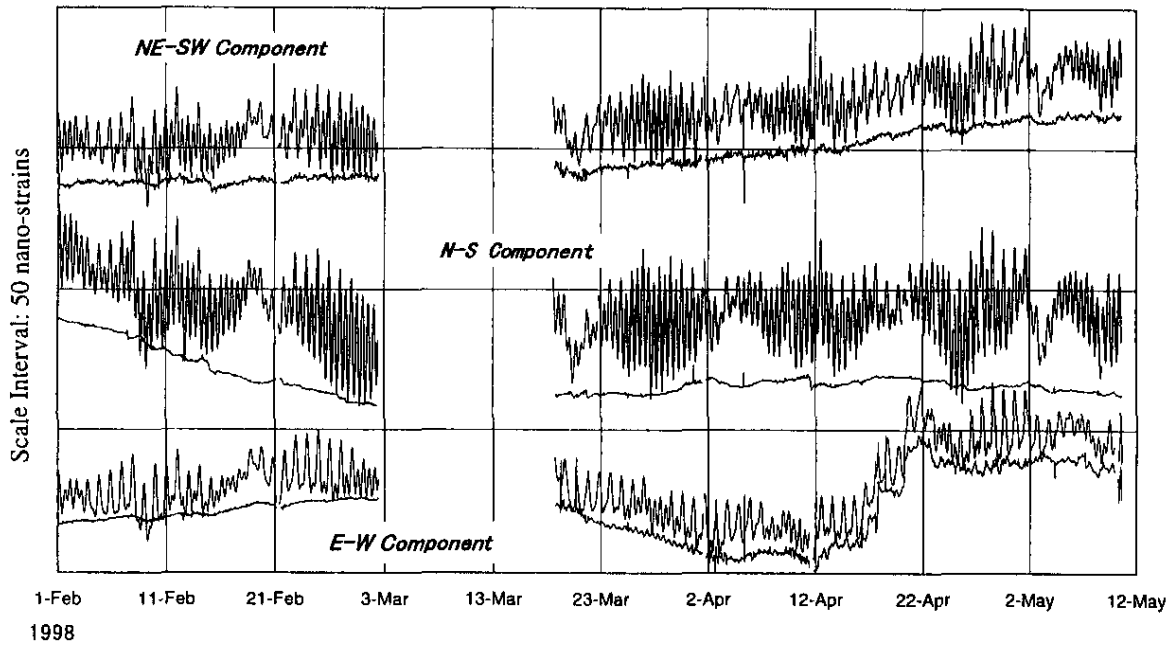
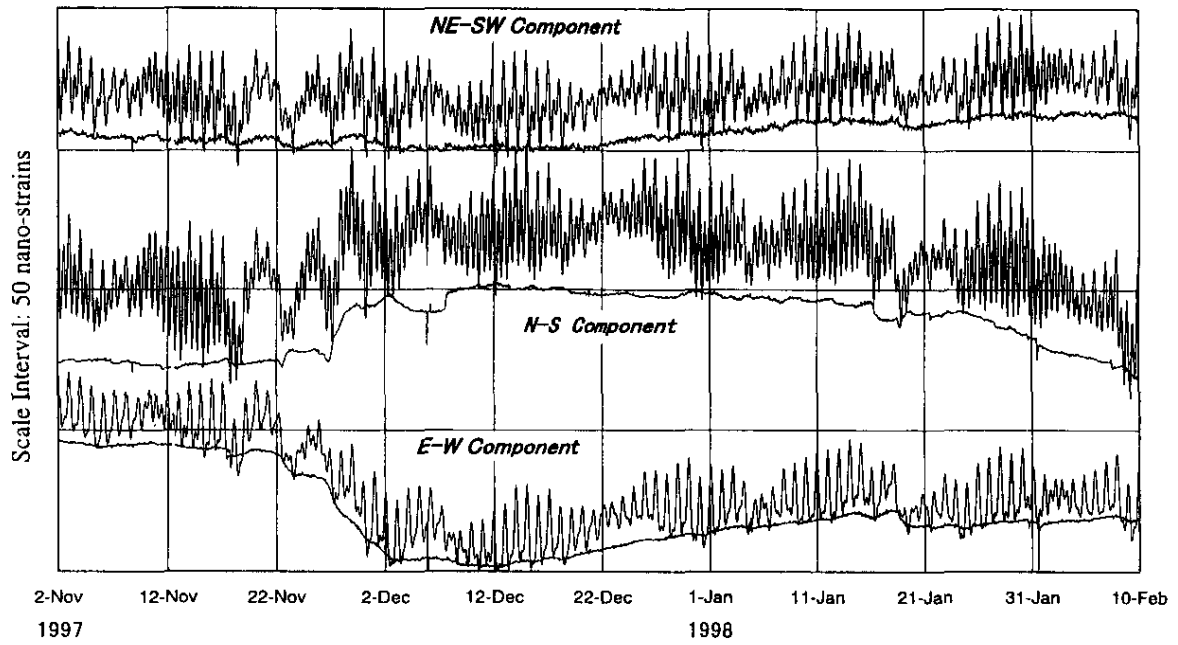
National Astronomical Observatory Mizusawa

国立天文台水沢観測センターの江刺地球潮汐観測施設において、1998年5月までに得られた地殻変動連続観測の結果を報告する。観測点の位置および計器の配置は、第1図のとおりである。第2図には1997年11月以後の石英管伸縮計3成分の毎時実測値、およびそれらから潮汐と気圧の効果を除いたものを示す。前回報告以後の約6ヶ月には、とくに注目される変化は認められず、概ね平穏に経過した。なお、1998年3月にはテレメータシステムの更新に伴う欠測がある。第3図は伸縮3成分の毎日0時値の変化を示し、最近の6ヶ月間の変化は従来からの傾向とほぼ同じである。第4図は江刺地球潮汐観測施設の北方約1kmの江刺GPS観測点と水沢観測センター屋上とに設けた固定アンテナ間で行っているGPS干渉測位の1996年5月以後の結果である。最近2年間では、見かけの年周変化以外に有意な変動は認められない。

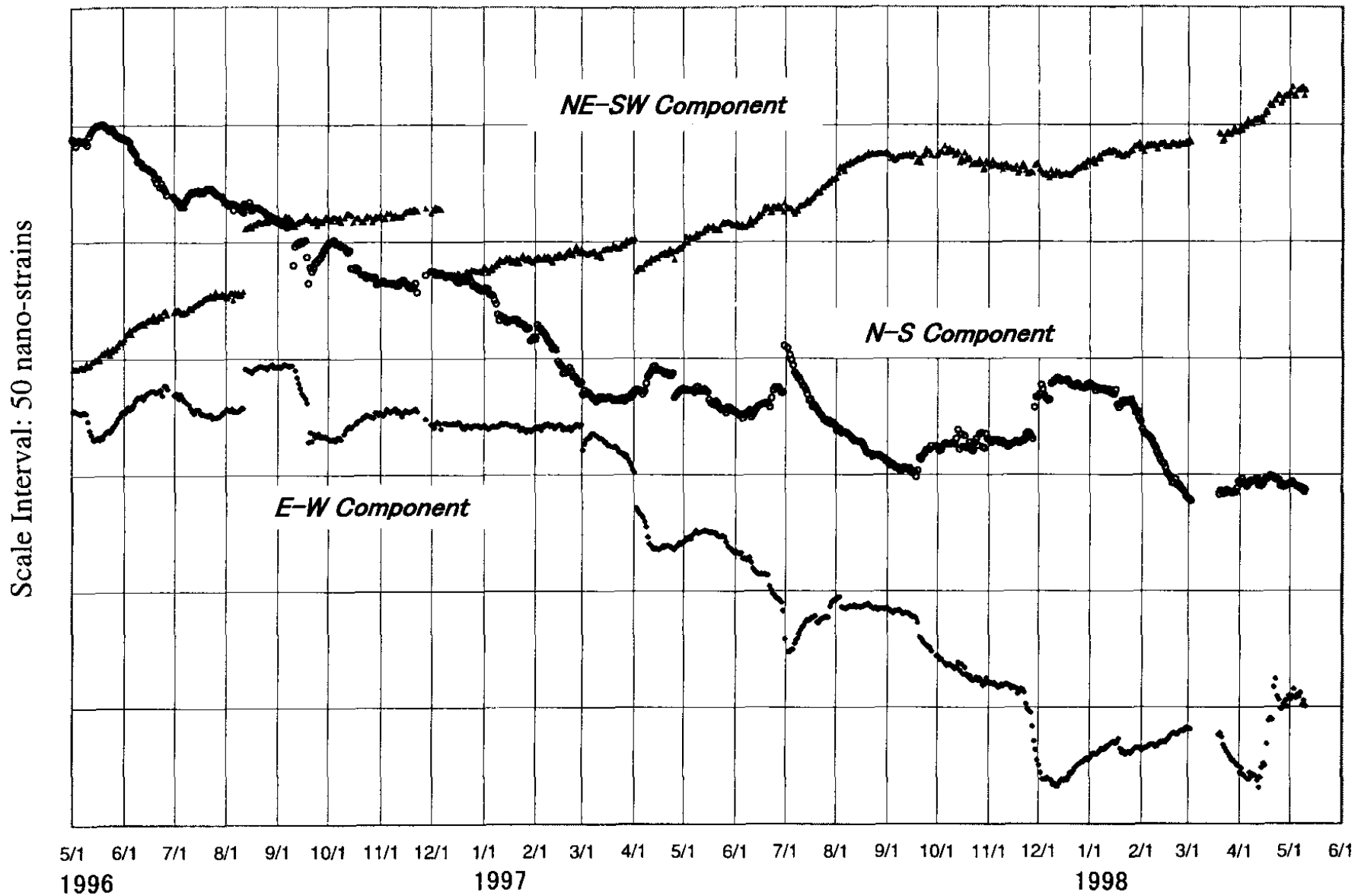


第1図 観測点の位置と観測機器の配置

Fig.1 Locations of observation sites and arrangement of instruments at Esashi Earth Tides Station.

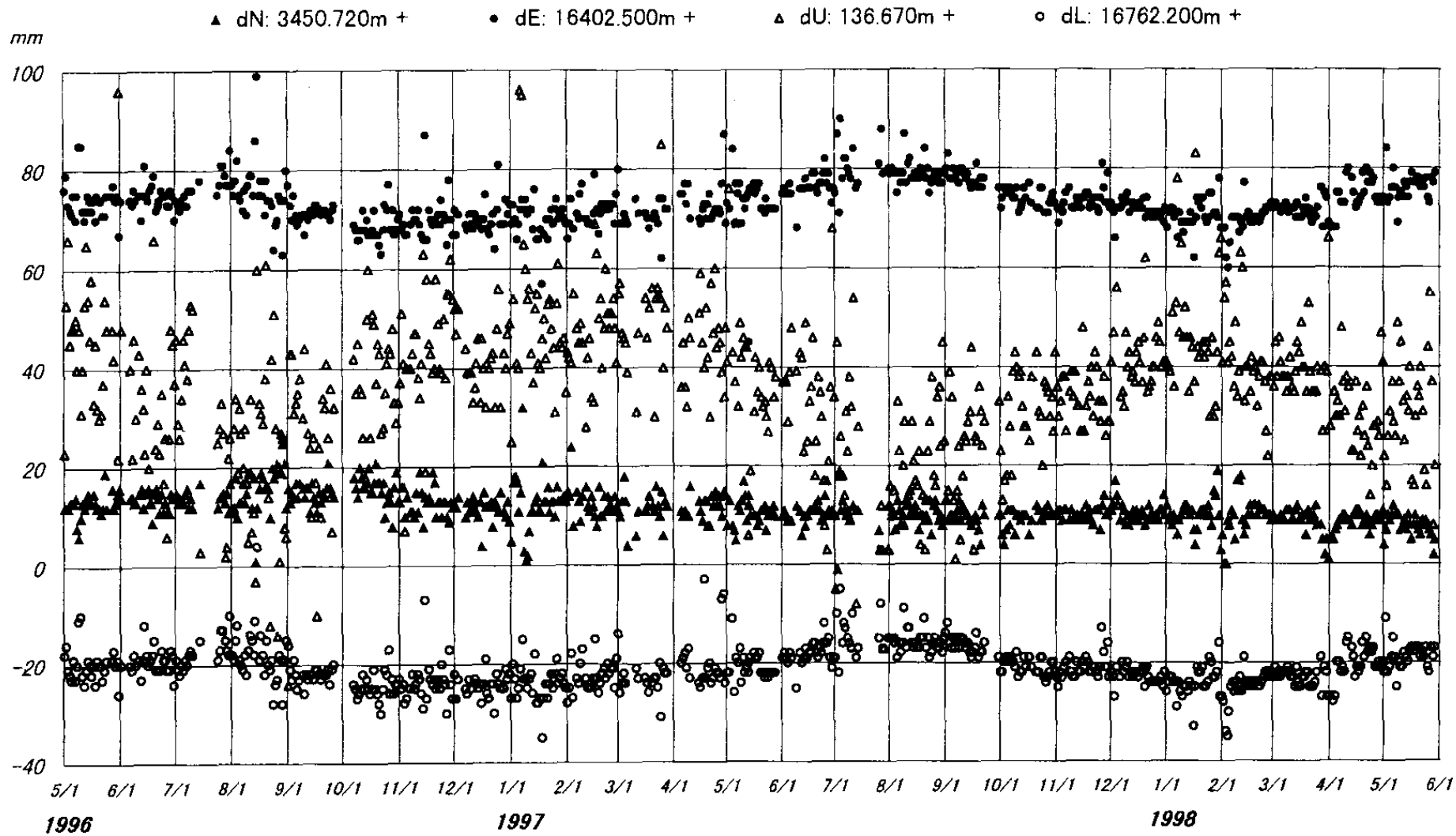


第2図 1997年11月以後の石英管伸縮計の毎時値および潮汐・気圧の効果を除いた値の変化
 Fig.2 Hourly changes of ground strain with quartz-tube extensometers and those corrected for the effects of earth tides and air pressure since November 1997.



第3図 最近2年間の伸縮3成分の毎日0時値の変化

Fig.3 Daily changes of strain corrected for the effects of earth tides and air pressure since May 1996



第4図 最近2年間の水沢 - 江刺基線のGPS干渉測位による基線各成分の変化

Fig.4 Daily changes of Mizusawa-Esashi GPS baseline with Trimble 4000SSE receivers since May 1996.